

12月定例会概要

平成22年12月定例会は12月12日から28日までの17日間の会期で行われました。

今定例会は、11月に執行された市議会議員選挙後初めての議会であり、12日には正副議長選挙をはじめとした議会構成が行われました。

議案については、平成22年度一般会計補正予算(総額2億7192万円の増額)、特別会計・水道事業会計補正予算(1億5864万円の増額)の各予算案11件、専決処分事項の事件案3件、教育委員会委員の任命及び監査委員の選任に同意する人事案などの計16議案が市長から提出されました。

20日から22日の一般質問には14名の議員が登壇し、24日には各常任委員会において付託された議案について審議しました。提出された議案すべて原案のとおり可決・承認・同意されました。陳情6件については、5件を採択し、1件を趣旨採択としました。議員提案の意見書4件については全員一致で可決しました。

委員会審査

12月24日には各委員会において審査が行われました。

総務文教常任委員会

総務文教委員会に付託されました議案は、一般会計補正予算の関係部分2件、特別会計の補正予算案1件、事件案3件の合計6議案でした。

審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり可決又は承認すべきものと決しました。

陳情16号「郵政改革に関する陳情」については、慎重審査の結果採択にすべきものと決しました。

産業建設常任委員会

産業建設委員会に付託されました議案は、一般会計補正予算の関係部分2件、特別会計の補正予算案5件の合計7議案でした。

審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

審査の中で、出された意見について申し上げます。小規模市道整備事業、協働のみちづくり事業など、国の緊急経済対策による来年度実施事業の前倒しと言うことで補正予算計上してあるが、これから降雪期に入り、これらの事業実施が心配される。これらの事業については、市民からも非常に要望が多いことから、真の経済対策となるように、新年度においても充分な予算を確保されたいとの意見が出されましたことを申し添えます。

陳情第13号「TPPに参加しないことを求める陳情書」、陳情第14号「TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加反対に関する陳情書」、陳情第15号「米の需給・価格安定と万全な所得補償の実現に関する陳情書」及び陳情第17号「平成23年度農林水産予算概算要求内容に関する陳情書」につきましては、全員一致で採択すべきものと決しました。

福祉環境常任委員会

福祉環境委員会に付託されました議案は、一般会計補正予算の関係部分2件、特別会計の補正予算案3件の合計5議案でした。

審査の結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情第12号「ILO看護条約・夜業条約に基づき、医療・介護労働者の大幅増員と夜勤改善を求める陳情」については、賛成多数で趣旨採択と決しました。

一般質問

12月20日から22日にかけては、12名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※次ページからの一般質問の内容については要約して掲載いたします。

平成23年度

予算編成にむけて



小林喜美治議員

◇予算編成方針について

【質問】12月定例会において平成23年度予算編成方針と3ヶ年実施計画が示されたが、1点目として主な財政指標はすべて改善されており財政の健全化が進んでいるとのことであるがその具体的内容について。2点目として23年度は足立市政の最初の予算編成であるがその特徴について。3点目として総枠配分方式による予算編成とのことであるが、具体的内容について。

【答弁】大事な点としてしっかりとした財政規律を保つこと。長期の財政を考える中で将来的な財政運営ができる事業執行をしていくことを基盤に、実際に使える範囲内の財政について3ヶ年の実施計画にしている。23年度は最初の事業年度となる。新幹線開業に向けてのまちづくり、地域づくりが一番の課題だと認識している。

◇農政問題について

【質問】TPP問題について、これに日本が参加すれば、農業・食料分野だけでなく、環境や雇用を守るルールさえ脅かすもので国民的



農村の原風景を守ろう!

な問題である。12月2日に政府に要望してきたことであるがその結果は。また今年の米価暴落について要望したことであるがその内容は。

【答弁】TPPの問題は大きな課題であり、農業を中心に観光振興などを活かしている飯山市にとって致命的な問題だと認識している。また、米の問題については、過剰米等の調整で、米価の安定をはかるとの話であったが、米価について厳しいものと理解している。

回遊性のある観光と

安全安心の地域



西條豊致議員

【質問】回遊性のあるまちづくりに

は人形館にあわせ飯山城跡の整備が必要。整備計画の内容は。小中学生及び市民の無料入館の考えはないか。【答弁】通年無料入館は考えていないが、来春3月以降市民対象無料開放日を設ける予定。リピーター対策も考えていきたい。飯山城跡は市民からも来訪者からも要望が多く史跡としての保存復元両面で検討する。【質問】人口増対策でアパート等が建設された道路の舗装は。【答弁】道路事業はどの区間も要望が多い。関係区と同意を得る等区長と調整して実施していく。【質問】中央橋架け替えて四〇三号線の改良工事についての考えは。【答弁】国道四〇三号線は木島平村、山ノ内町、野沢温泉線を結ぶ重要な幹線道路であり、橋梁区間を含め木島平地籍まで都市計画道路として決定し整備するよう県に働きかける。街路灯については補正で対応する。

【質問】中学生の通学に冬期間だけでもスクールバス対応できないか。公共交通での補助等の考えは。



資料2

湯滝橋付近の掘削予定箇所航空写真